

子ども達と一緒に学んでいます！

子どもの心を育む講演・交流事業

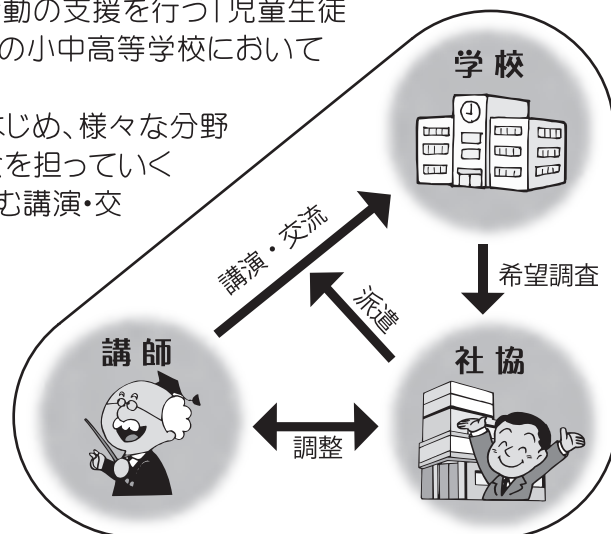
名寄市社会福祉協議会では、学校でのボランティアや地域活動の支援を行う「児童生徒ボランティア活動普及実践事業」を従来より実施しており、市内の小中高等学校において様々な取り組みが行われています。

この度、その事業の一環として、ボランティアや福祉分野をはじめ、様々な分野で活躍されている実践者の講演や交流をとおして、将来の社会を担っていく子ども達の経験や心を育むことを目的とした「子どもの心を育む講演・交流事業」を平成25年度よりスタートしました。

このような事業を展開します

- ・国内外で活躍しているボランティア実践者による講演
- ・様々な活動を行っている障がい当事者との交流
- ・障がい者スポーツアスリートの講演
- ・社会福祉協議会職員による講話・体験

※講師派遣に係る費用は名寄市社会福祉協議会が負担します



名寄南小学校・風連中学校 5月24日(金)

講師に高橋 明さん(NPO法人アダプテッドスポーツサポートセンター理事長)に大阪よりお越しいただき、午前中に名寄南小学校5年生、午後から風連中学校全校生徒を対象にそれぞれ講演いただきました。

高橋さんは5回のパラリンピックに監督やコーチとして参加され、シドニーパラリンピック(2000年)では車いすバスケットボールチームの総監督として女子代表を銅メダルに導くなど、障がい者スポーツの普及振興を日本の先頭になって進めてこられており、そういった多くの経験から、子ども達に「障がいとはどういったことなのか」「障がいの有無に関わらず共に暮らしていくこと」などについて熱心に伝えていただきました。



名寄南小学校での様子



風連中学校での様子

智恵文小学校・智恵文中学校 6月12日(水)

名寄高校出身で現在は全盲のカメラマンとして写真展や移動困難者の旅行のサポートなど様々な活動をされている大平 啓朗さん(NPO法人ふらっとほ〜む理事長)に智恵文小学校と智恵文中学校でそれぞれ講演いただきました。

大平さんは山形大学大学院在学中に事故で失明し、その後、国立函館視力障害センターで生活や職業訓練を行いました。視力を失っても時間をみつけては趣味のカメラを片手に白杖とともに国内外を一人旅し続け、「見える旅、見えない旅」どちらも楽しめることを知りました。

障がいを持って明るく前向きな生活を送っている大平さんから、視覚障がいをもつ方々の生活についてや、一人旅での様々なエピソードなどを教えてもらい、子ども達は楽しみながらもたくさんの事を学ぶことができました。

また智恵文小学校では給食も一緒に食べ、子ども達との交流も深めました。



智恵文小学校での様子



智恵文中学校での様子